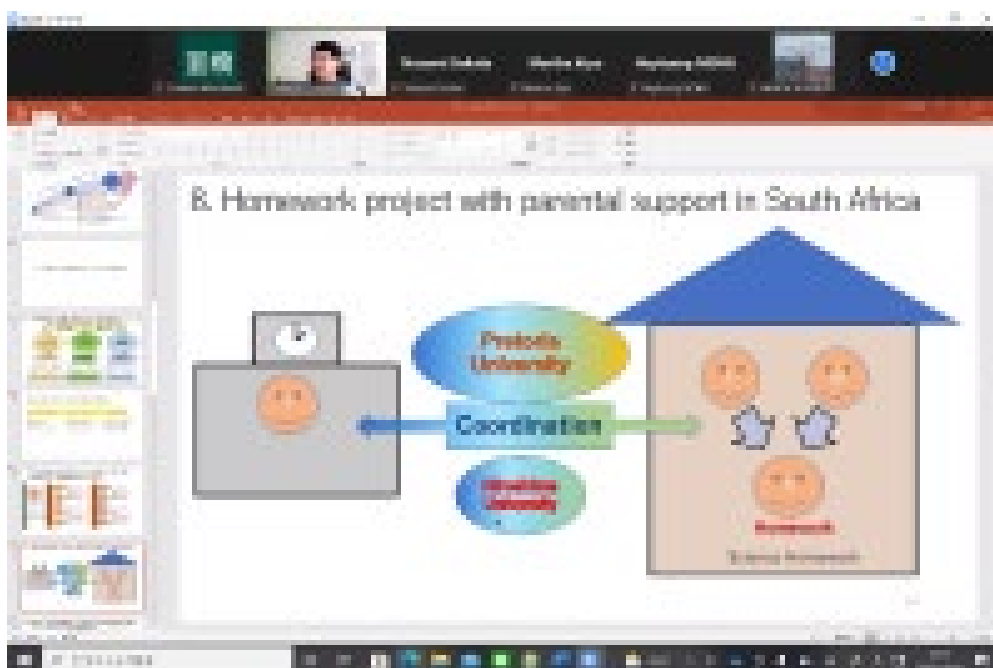


## 11月18日 Workshop Group1

本日の JICA 研修はグループディスカッションを中心にして進められました。まずグループディスカッションの前に、前回の研修で扱ったレッスンスタディに関する復習を行い、多数派と少数派が共存する社会での教育的なアプローチなどについて復習を行いました。その中で家庭・地域コミュニティと学校をつなぐ重要性などにも触れ、南アフリカでの『Homework project with parental support in South Africa』の事例の紹介を行いました。

研修のメインであるグループディスカッションでは南アフリカでの事例を引き合いに出し、多数派、少数派の生徒間の差別をなくすためにどのような解決策を考えることができるかということを参加者同士で考えました。また、考える際により現実に近い状況にするために条件として予算が限られていること、計画の持続性を重視することも伝えられ、参加者は各ブレイクアウトルームで30分間の議論を行いました。ブレイクアウトルームでの議論では参加者同士が自分の国の教育状況も踏まえながら、活発な議論を行いました。

その後、グループごとに発表を行い、全体での議論を行いました。議論の中では低い自尊心が生徒の学習意欲を低下させそれが結果的に学生同士の学力の差を生むことや、組織力を強化するキャパシティ・ビルディングの必要性などが挙げられました。加えて、発展途上国の教育的な課題として、少数派と多数派の教育的な格差の是正を限られた予算の中でいかに達成していくのか、これから経済成長が続いていく国における教育の重要性などについて、GDPの観点を踏まえて議論を行いました。



## 11月18日 Workshop Group2

本日のJICA研修は、まずインドネシアにおけるレッススタディ、南アフリカにおける宿題プロジェクト (Homework project) の内容についてPPTを用いて簡単な紹介を日下部先生が行い、次にこれらに関連したディスカッションを行う、といった流れで行われました。

インドネシアのレッススタディでは実践した結果や知識などのノウハウを他の地域で共有することや、地方教育行政などとの対話の重要性について説明を行いました。また、南アフリカにおける宿題プロジェクトについては、教育計画の実践を学校だけにとどめず、地域コミュニティも巻き込むことで、より効果的な実践になることなどの説明を行いました。加えて、計画を作る際にはステークホルダー内で責任を共有することなどが重要になってくることも説明されました。

グループディスカッションでは、南アフリカにおける少数民族の生徒の差別を減らすためにどのような提案ができるかという問題を議論しました。ディスカッションのポイントとして、日下部先生から途上国でも教育にかかる予算は少ないこと、計画の持続性がないと計画の質は下がってしまうことなどが言及され、参加者はこれらの条件を念頭にして、ディスカッションを行いました。参加者からは、NGOを利用する案や、現地のリーダーや中核を担っていくような教員の養成の重要性について意見が出て、それらに関して参加者や日下部先生からフィードバックが与えられ、実りのある議論となりました。

